

## 痛みのアセスメントの一例

- 左上腕痛
  - ズキッとした痛み：骨転移、病的骨折（体性痛：体動時に増強）
- 右側胸部痛（NRS3～4）
  - ビリビリとした痛み：胸椎転移による神経根症状（神経障害性疼痛）
- 背部痛（NRS3～4、体動時8～10）
  - ズキッとした痛み、寝返りで目覚める：胸椎転移、腰椎転移（体性痛）
- 腰背部痛
  - 腰部の鈍い痛み：副腎転移（内臓痛）

PEACE

## 痛みのマネジメントの一例…

- オピオイド
  - モルヒネ徐放性製剤の増量：120mg/日
  - レスキュー薬：モルヒネ速放性製剤20mg/回
  - 副作用対策：酸化マグネシウム1.5g/日
- 鎮痛補助薬
  - プレガバリン 75mg（就寝時）
  - コルチコステロイド（ベタメタゾンなど）の使用を検討
- 抜歯後粘膜形成の完了を待ってゾレドロン酸4mgの投与を再開

PEACE

## …痛みのマネジメントの一例

- 放射線療法：左上腕骨、腰椎
  - 第7胸椎への再照射を検討
- 患者、家族と相談の結果、整形外科手術は全身状態や予後を勘案して行わないこととした

PEACE

## 痛み以外の身体症状

- 両下肢のしびれ
- 膀胱直腸障害
  - 胸椎転移による脊髄圧迫障害

PEACE

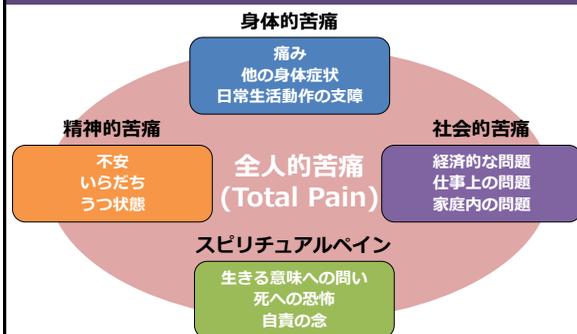
## その他に

- 動作前（30～60分）のレスキュー薬使用
- 痛みがでない姿勢や移動の工夫
- コルセット、アームスリング（もしくは三角巾+バスタバンド固定）
- 温電法：側胸部、腰
- リラックス、気分転換
- 不安に対する支持的介入



PEACE

## 全人的苦痛



PEACE

## 身体症状以外の問題点

本人にとって

- 病状の進行に対する不安
- 趣味や仕事の喪失
- 妻と今後のことを話し合えていないこと

医療者にとって

- 介護力不足
- 経済的問題

## まとめ

- がん疼痛を適切に評価し、それに基づいたマネジメントを行うことが重要である
- がん患者の全人的な苦痛に配慮することが必要である
- がん疼痛への対処をチームで行うことが重要である

## 補助スライド

## その後…

- なぜ妻に抗がん治療を中止したことを伝えたくないかを尋ねたところ、妻に余計な心配をかけたくないと考えていた
- 話し合いの結果、主治医から面談の席で本人と家族に正確な病状の説明が行われ、本人、家族が今後の治療や療養について、どのような希望を持っているかを尋ねた

## …その後

- 患者本人は病状を現実的に受け止め、対症療法を中心に可能な範囲で在宅での療養を希望した
- 遠くに住む次女が介護休業を取った
- 介護保険の申請を行い、電動ベッドとマット、車いすをレンタルした
- 緩和ケアチームの支援を受け、訪問診療、訪問看護の手配と緊急時の入院先確保などを行った
- 訪問看護を利用して試験外泊し、退院された

## グループワーク

- グループ内で**三役**を決めましょう
  - 1) **司会**：ディスカッションの進行役  
メンバー全員が意見を出せるように配慮
  - 2) **書記**：ホワイトボードに書く  
意見も述べてください
  - 3) **発表者**：全体発表の場で発表する